

年 報

令和4年度版

(公財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

序

昭和52年、当センターは「財団法人岩手県埋蔵文化財センター」として設立され、それ以降、岩手県教育委員会の御指導や調整、そして関係機関の御協力をいただきながら、本県における開発事業に伴う発掘調査推進の一翼を担って参りました。

令和4年度は、三陸沿岸道路フル規格化や一般国道4号バイパスなどの道路建設、県の農業基盤整備事業のほか、自治体の工業団地整備などに伴う発掘調査を実施いたしました。また、平成30年度以降、東日本大震災に関連する復興調査で得られた成果につきましては、「復興発掘調査展」と銘打って沿岸各市町村で公開して参りましたが、昨年度で5回目を迎えた洋野町での開催をもって一区切りといたしました。期間中、沿岸各地から多くの皆様に御来場いただき、誠にありがとうございました。ここに深く感謝申し上げます。

本書は、当該年度に実施した当センターの発掘調査並びに整理作業をはじめ、報告書の刊行、出土した文化財の利活用、普及啓発活動、研究等の状況を簡潔にまとめたものですので、参考資料として御活用いただきますようお願いいたします。

令和5年7月

(公財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター
所長 岩 渕 計

目 次

序

I 埋蔵文化財センターの概要	1
1 設立の主旨	1
2 沿革	1
3 組織	2
4 職員数の推移	3
5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移	3
6 受託事業費の推移	3
II 事業の概要	4
1 管理業務	4
(1)受託事業	4
(2)研修、諸会議等	4
2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務	4
(1)発掘調査業務	4
(2)整理業務	6
(3)報告書発刊業務	6
3 普及業務	10
(1)受託業務	10
①埋蔵文化財展	10
②埋蔵文化財発掘調査技術講習会	10
③埋蔵文化財公開講座	10
④岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発刊	11
⑤資料保管・管理	12
(2)自主事業	13
①復興発掘調査展	13
②遺跡報告会	14
③資格取得	14
④研修	14
⑤発刊	15
⑥図書管理	15
⑦カラースライドデジタル化	16
⑧所内展示	16
⑨ホームページ運営	16
⑩遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開	16
4 外部協力	17
(1)講演・研究発表・会議・指導	17
(2)執筆等	18
職員名簿	19
アクセス	20

I 埋蔵文化財センターの概要

1 設立の主旨

豊かな自然に恵まれた岩手県は旧石器時代以来生活の舞台となっており、「埋蔵文化財の宝庫」と呼ばれるほど数多くの文化遺産が受け継がれてきました。それは、時に縄文人の作ったおびただしい数の土偶であったり、12世紀の東日本最大の都市「平泉遺跡群」であったりします。

一方、高速交通網の整備をはじめ多くの開発事業が促進され、これにより遺跡の発掘調査が急増し、調査体制の充実や出土遺物の整理・収蔵を図る施設の建設が要請されることになりました。

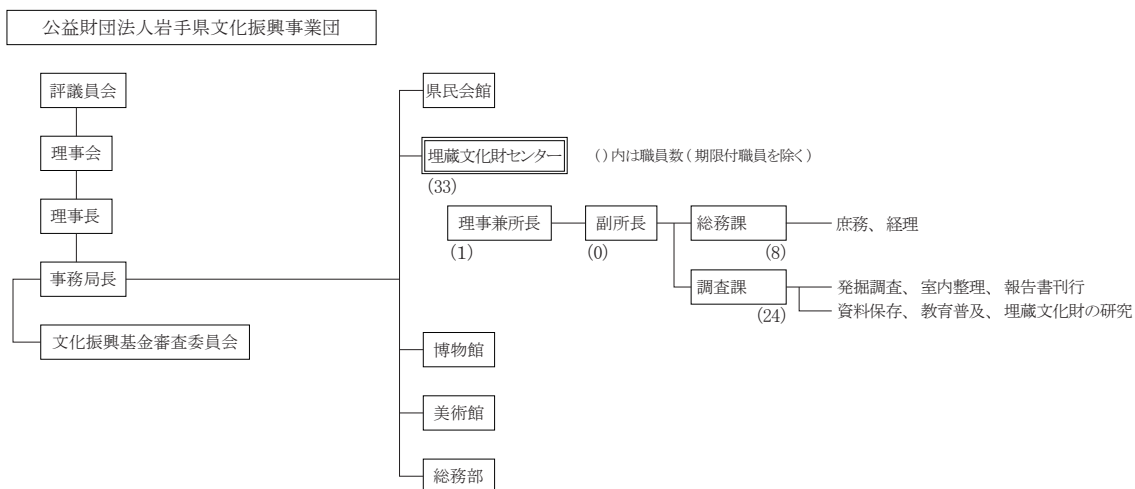
公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターは、このような状況に対処するために設立され、埋蔵文化財の調査、研究、保護思想の普及・啓発などを総合的に行っています。

2 沿革

昭和52年4月	財団法人岩手県埋蔵文化財センター設立。組織は総務課、調査課の二課体制 盛岡市向中野39番地の盛岡家畜保健衛生所の旧用地 1,383㎡、旧建物 374㎡ (事務所建 326㎡、車庫 32㎡、雑屋建 16㎡)を借り受け事務所とした
昭和53年10月	所長室、事務室等の管理棟(プレハブ)及び収蔵庫(プレハブ)を建築
昭和54年2月	第1回埋蔵文化財展(市町村巡回)を開催(盛岡市)
昭和55年1月	第1回埋蔵文化財公開講座を開催(盛岡市)
昭和56年4月	岩手県立埋蔵文化財センター庁舎完成(盛岡市下飯岡11地割185番)。同庁舎の 一部を借り受け事務所を移転。資料課を新設し三課体制となる
昭和59年11月	機材収蔵庫(旧北プレハブ棟、2階建 580㎡)をリースにより設置
昭和60年3月	第24回理事会において、財団法人の解散と残余財産を新財団法人に引き継ぐこ とに決定
昭和60年4月	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる 総務課を管理課に改称。管理課、調査課、資料課の体制となる
平成2年4月	隣接の教育センター分館を収蔵庫(960㎡)として借用
平成2年11月	室内整理作業棟(旧南プレハブ2階建 660㎡)をリースにより設置
平成8年3月	県予算により整理作業棟(呼称：新プレハブ 2階建プレハブ、654.76㎡)と収 蔵庫(平屋建プレハブ 327㎡)2棟建設 教育センター分館収蔵庫取り壊しに伴い出土品を移動
平成9年8月	プレハブ棟に冷房機を設置
平成11年4月	岩手県立埋蔵文化財センターの施設管理運営業務を受託 調査課を調査第一課に、資料課を調査第二課に改称
平成12年2月	北山倉庫(旧盲学校校舎)に出土品の一部を移動
平成12年8月	機材収蔵庫(プレハブ2階建、リース物件)を建替え 本館改修(屋根、外壁)工事及び浄化槽改修工事を実施
平成13年6月	本館冷房設備設置工事を実施
平成13年9月	水道配水管漏水補修工事を実施
平成14年9月	旧衛生研究所に出土品の一部を移動
平成15年10月	本館耐震診断調査を実施

平成17年 3月	自家発電設備補修工事を実施
平成18年 4月	管理課を総務課に改称
平成22年 4月	旧南プレハブ老朽化のため解体
平成23年 4月	公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる
平成24年 4月	調査第一課及び調査第二課を調査課に統合
平成25年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 3名と岩手県から 3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 7名とOB職員 3名の任用
平成25年11月	盛岡市向中野 3丁目18-35に事務所を借り室内整理室の分室とする (～平成26年 3月)
平成26年 2月	室内整理作業棟(呼称：南プレハブ 平屋建 334.65㎡、リース物件)の増設
平成26年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 6名と岩手県から 3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 8名とOB職員 6名の任用
平成26年11月	盛岡市西仙北1丁目16-10に事務所を借り室内整理室の分室とする(～令和 2年 3月)
平成27年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 5名と岩手県から 3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 5名とOB職員 5名の任用
平成28年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 3名と岩手県から 2名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 1名とOB職員 4名の任用
平成29年 2月	矢巾町大字広宮沢第10地割506番地 2に事務所等を借り室内整理室の分室とする(～平成31年 3月)
平成29年 4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員 4名と岩手県から 1名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員 3名とOB職員 3名の任用
平成30年 4月	東日本大震災復興調査及び支援のため、期限付調査員 3名とOB職員 4名の任用及び福島県文化振興財団に職員 1名の派遣
平成31年 4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員 1名の派遣
令和 2年 4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員 1名の派遣

3 組 織



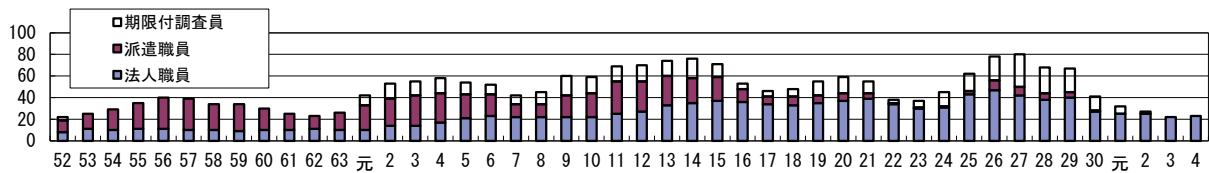
法人職員23名、常勤契約職員6名の33名

4 職員数の推移(昭和52年度～令和4年度)

(人)

年度	(財)岩手県埋蔵文化財センター									(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター												
	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
法人職員	8	11	10	11	11	10	10	9	10	10	11	10	10	14	14	17	21	23	22	22	22	22
派遣職員	11	14	19	24	29	29	24	25	20	15	12	16	23	25	28	27	22	20	12	12	20	22
期限付調査員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	13	14	11	9	8	11	18	15
計	22	25	29	35	40	39	34	34	30	25	23	26	42	53	55	58	54	52	42	45	60	59

年度	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター											(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター												
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
法人職員	25	27	33	35	37	36	34	33	35	37	39	34	30	31	43	47	42	38	40	27	25	25	22	23
派遣職員	30	28	27	23	22	12	7	8	7	7	5	1	1	1	3	9	8	6	5	1	0	0	0	0
期限付調査員	14	15	14	18	12	5	5	7	13	15	11	3	6	13	16	22	30	24	22	13	7	2	0	0
計	69	70	74	76	71	53	46	48	55	59	55	38	37	45	62	78	80	68	67	41	32	27	22	23

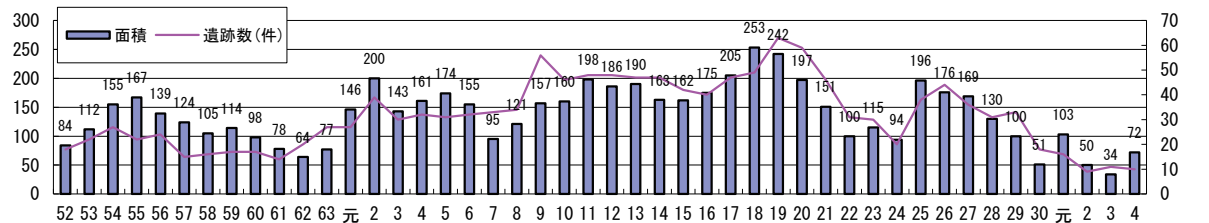


5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移(昭和52年度～令和4年度実績)

(千㎡・件)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
面積	84	112	155	167	139	124	105	114	98	78	64	77	146	200	143	161	174	155	95	121	157	160
遺跡数(件)	18	22	27	22	24	15	16	17	17	14	20	27	27	39	30	32	31	32	33	34	56	46

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
面積	198	186	190	163	162	175	205	253	242	197	151	100	115	94	196	176	169	130	100	51	103	50	34	72
遺跡数(件)	48	48	47	47	42	40	47	49	63	59	46	31	30	20	38	44	36	31	33	18	16	9	11	10



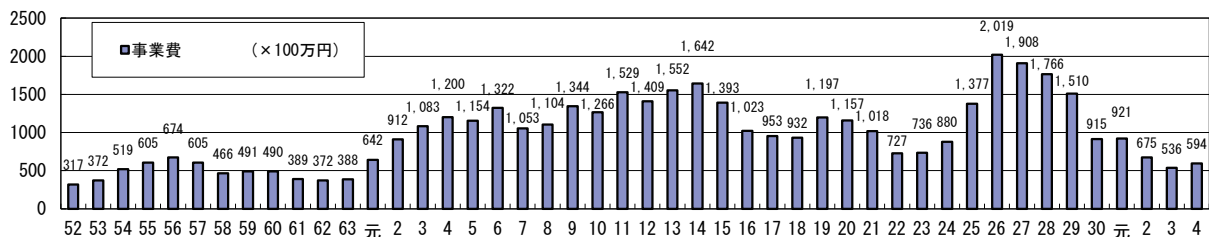
6 受託事業費の推移(昭和52年度～令和4年度実績)※事業費百万円未満四捨五入

(百万円)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
事業費(×100万円)	317	372	519	605	674	605	466	491	490	389	372	388	642	912	1,083	1,200	1,154	1,322	1,053	1,104	1,344	1,266	1,529

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
事業費(×100万円)	1,409	1,552	1,642	1,393	1,023	953	932	1,197	1,157	1,018	727	736	880	1,377	2,019	1,908	1,766	1,510	915	921	675	536	594

平成11年度以降、管理受託収入、緊急雇用特別対策事業収入(平成16年度まで及び21～23年度)を含む



Ⅱ 事業の概要

1 管理業務

(1) 受託事業(施設の管理運営)

① 岩手県立埋蔵文化財センターの管理運營業務受託

本館、室内整理作業棟、収蔵庫2棟、器材収蔵庫棟等の施設・設備の管理保全

② 出土遺物の保管管理

特別収蔵庫(本館2階)、一般収蔵庫(本館3階)、収蔵庫A・B棟のほか、旧東和高校体育館に遺物を保管

(2) 研修、諸会議等(専門職員研修等を除く)

① 職員研修〈事業団研修〉

実施なし

② 安全衛生関係

安全衛生委員会 月1回(労働安全衛生法第18条第1項に基づく設置)

救急救命講習(AEDの使い方、その他応急措置)

※新型コロナウイルス感染拡大防止で講師確保が困難のため中止

安全及び衛生管理体制の充実

第二種衛生管理者準備講習(受講2名)

有機溶剤作業主任者講習(受講予定1名)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛

化学物質リスクアセスメントセミナー(受講予定2名)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛

③ 諸会議

事業団理事会 5月24日、6月16日、9月28日、11月16日、3月16日

事業団評議員会 6月16日

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課・事業団 埋蔵文化財業務連絡会 5月27日

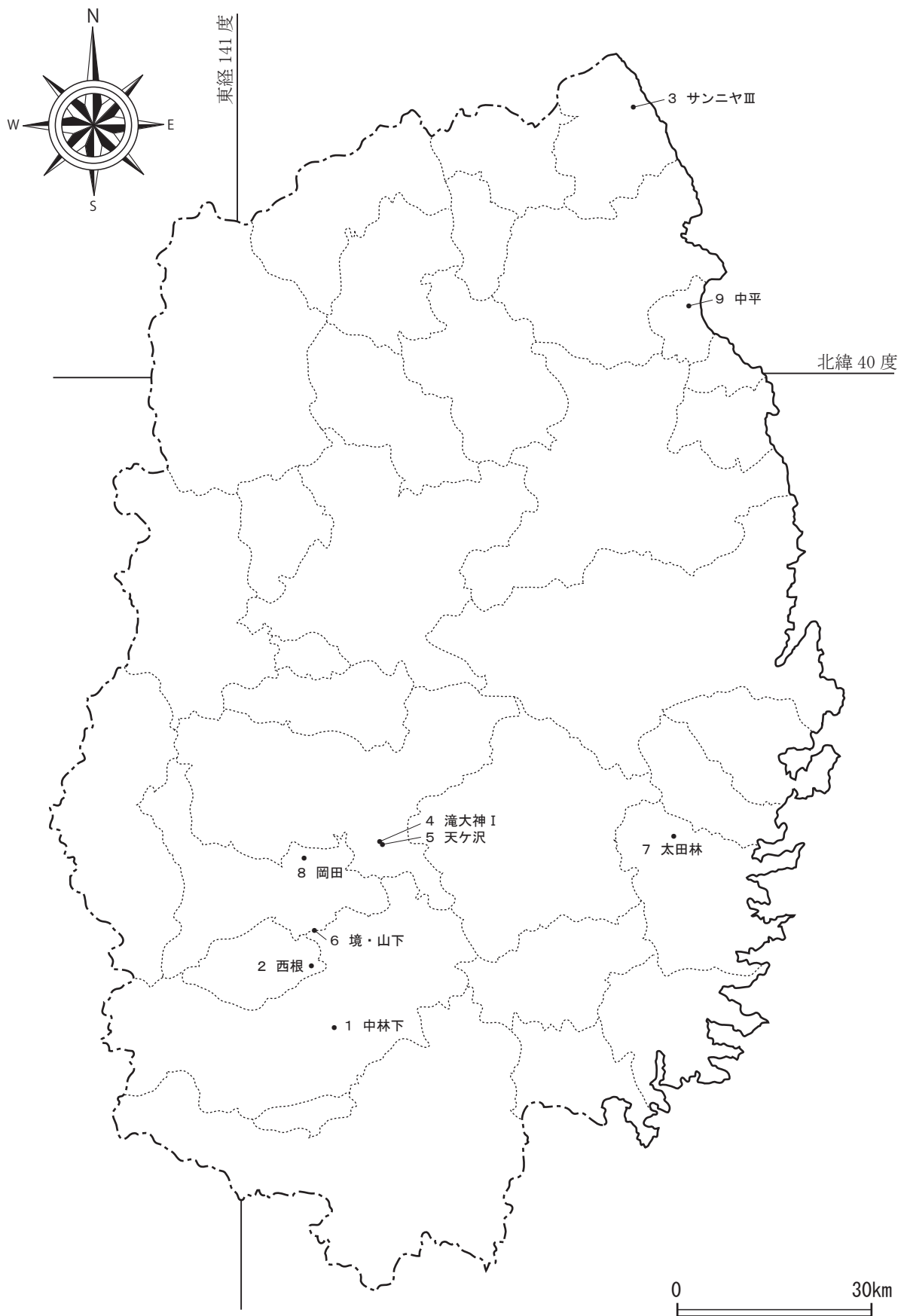
2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務

(1) 発掘調査業務

令和4年度の発掘調査は、当初8遺跡・面積79,627㎡で開始され、年度途中で奥州市境遺跡・山下遺跡が新規に追加されたことから、最終的に8件9遺跡、72,041㎡の調査を実施した。調査遺跡数は、前年度より2遺跡減少している。今年度は、県央部および沿岸北部地域の4市2町1村に所在する各遺跡を調査したが、これらの調査原因と遺跡数は、三陸沿岸道路関連1遺跡を含む道路建設事業4遺跡、農業基盤整備事業2遺跡、市町村支援が3遺跡となっている。

ここからは、調査成果について時代ごとに記載する。はじめに旧石器時代であるが、北上市の岡田遺跡から石刃を含む石器集中区が1か所確認された。剥片を主体とする石器の出土点数は、およそ100点を数える。

次に縄文時代では、多くの遺構・遺物が得られた釜石市太田林遺跡をはじめに紹介する。橋野川



令和4年度発掘調査遺跡位置図

に流れ込む横内川右岸に立地するこの遺跡からは、縄文時代早期中葉から前期末葉にかけての竪穴住居が20棟以上も重なり合って検出され、大形の竪穴住居も数棟見つかった。また、炭化した堅果類(クリ)が出土した食糧貯蔵用の土坑や墓なども確認されている。遺物では、玦状耳飾りと呼ばれる石製品が数多く出土し、相当数未完成品も観察されることから、その製作に関わる工房が存在していたと考えられる。この他、野田村中平遺跡では早～前期の竪穴住居群が、洋野町サンニヤⅢ遺跡と北上市岡田遺跡では、狩猟用と思われる溝状の陥し穴が見つかった。特に、岡田遺跡の陥し穴の検出数は320基を超え、複数の陥し穴が意図的に配列される事例が認められることから、当該期の狩猟のあり方を考察するうえで新たな成果を加えられた。

花巻市天ヶ沢遺跡からは、県内でも出土例の少ない弥生時代中期を主体とする土器が埋没した沢跡から出土した。その上層には平安時代の遺物包含層も形成されており、この二つの時期に所属する竪穴住居や土坑などの遺構の存在が想定される。

平安時代では、ここ数年調査が継続されている奥州市中林下遺跡、金ヶ崎町の国指定史跡「鳥海柵」に隣接する西根遺跡のほか、前述した岡田遺跡および境・山下遺跡、県指定史跡「野田竪穴住居跡群」の北東側を調査区とする中平遺跡の5遺跡が挙げられる。中林下遺跡は、9～10世紀以降の掘立柱建物や竪穴住居が主体となる遺跡であるが、今回は12世紀後半の掘立柱建物や土坑も確認された。このことは、周辺に平泉藤原氏に関連する居館等があった可能性が高いと思われる。中平遺跡からは、平安時代9～10世紀代の竪穴住居44棟が確認された。人為的に埋め戻され、鍛冶関連の施設として再利用される住居が多いことが特筆される。また、このうちの1棟からは石帯と呼ばれる腰帯(ベルト)の飾りが出土し、これは当時の役人が身に着けていた貴重品であることから、この地域に相当の有力者が往来していたことが推測される。同時に、東海産の灰釉陶器が今回初めて出土し、沿岸域における平安時代の様相を再検討する材料が得られた。この2遺跡のほか、岡田遺跡で15棟、境遺跡・山下遺跡からは1棟の竪穴住居が確認されており、県央部から県南の北部地域にかけても新しい成果が認められた。

最後に中・近世の遺跡では、中林下遺跡から16世紀後半以降の掘立柱建物や土坑・溝が、花巻市滝大神Ⅰ遺跡からは近世民家と思われる建物1棟が検出されている。

久方ぶりの旧石器の出土、縄文時代の狩猟のあり方について、弥生時代中期の土器資料の追加、沿岸北部地域および県央部から県南部にかけての平安時代の様相、平泉藤原氏時代の資料の追加などが、令和4年度の調査成果として挙げられよう。次年度も継続調査が見込まれる遺跡も複数あることから、更なる調査成果が加えられることを期待したい。

(2) 整理業務

今年度は、4月当初から5か月間にわたり奥州市中林下遺跡の室内整理を実施した。また、昨年度に引き続き、陸前高田市の「被災ミュージアム再興事業」の一部を受託し、東日本大震災で被災した小泉遺跡や堂ノ前遺跡出土の考古資料修復、接合・復元、台帳作成等を行った。

(3) 報告書発刊業務

令和4年度は、のべ9遺跡5冊の調査報告書を刊行した。内訳は、国関係1冊、県関係3冊、市町村支援が1冊である。調査年度が複数にわたる遺跡が3遺跡あり、それに伴い頁数も相応のボリュームとなった。

各遺跡の調査概要については、年度ごとに「発掘調査報告書」を作成し速報的な成果を公開しているが、金ヶ崎町西根遺跡は、第741集への掲載をもって本報告としている。

表1 令和4年度発掘調査一覧

No.	遺跡名	所在地	面積 (㎡)	調査期間	関連事業名	調査成果
1	中林下遺跡	奥州市	2,756	5/9～7/29	一般国道4号水沢東バイパス	(検出遺構) 平安: 掘立柱建物6、堅穴状遺構2、土坑7、溝3、性格不明遺構3、12世紀後半: 掘立柱建物1、土坑1、溝1、16世紀後半以降: 掘立柱建物2、土坑3、溝2、性格不明遺構1 (出土遺物) 須恵器・土師器大7箱、建築部材大5箱、瓦3、緑釉陶器2、陶磁器大1箱、かわらけ3、銭貨1
2	西根遺跡	金ヶ崎町	200	8/1～9/30	一般国道4号金ヶ崎拡幅	(検出遺構) 奈良・平安: 堀1、溝1、沢(あるいは堀)1、時期不明: 柱穴状土坑2 (出土遺物) 土師器・須恵器数点
3	サンニヤⅢ遺跡	洋野町	5,242	4/7～8/10	三陸沿岸道路洋野種市IC	(検出遺構) 縄文: 陥し穴12、土坑6、集石遺構1、時期不明: 炭窯1 (出土遺物) 縄文土器小1、石器小0.5箱
4	滝大神Ⅰ遺跡	花巻市	782	8/1～9/29	経営体育成基盤整備事業	(検出遺構) 弥生: 遺物包含層1、近世: 掘立柱建物2、溝1、水田1 (出土遺物) 弥生土器中1箱、石器小0.5箱、近世: 陶磁器3
5	天ヶ沢遺跡	花巻市	3,000	9/1～11/30	経営体育成基盤整備事業	(検出遺構) 縄文(時期不明): 陥し穴1、弥生: 沢跡(遺物包含層)1、平安: 堅穴住居2 (出土遺物) 弥生: 土器大12箱、石器中2箱、碧玉製管玉1、平安: 大1箱
6	境遺跡、山下遺跡	奥州市	1,234	10/3～11/28	主要地方道一関北上線山下地区	(検出遺構) 平安: 堅穴住居1、土坑2、溝2、柱穴状土坑2、時期不明: 焼土遺構1 (出土遺物) 縄文: 土器・石器数点、平安: 土師器・須恵器中3箱、土錘1
7	太田林遺跡	釜石市	567	6/6～11/30	橋野地区消防屯所建設	(検出遺構) 縄文: 堅穴住居24、土坑25、柱穴状土坑215 (出土遺物) 縄文: 大39箱、石器中23箱、土製品小1箱、石製品(珧状耳飾り)小1箱、炭化堅果類、焼骨ほか
8	岡田遺跡	北上市	50,000	4/6～11/30	北上北部産業業務団地整備	(検出遺構) 旧石器: 石器集中区1、縄文: 堅穴住居3、土坑17、陥し穴324、平安: 堅穴住居15、時期不明: 大形堅穴遺構1、堅穴状遺構4、掘立柱建物1、井戸1、土坑5、溝1 (出土遺物) 旧石器: 約100、縄文: 土器小1箱、剥片石器小1箱、礫石器中1箱、平安時代: 土師器・須恵器中7箱
9	中平遺跡	野田村	8,260	4/7～11/11	野田小学校整備	(検出遺構) 縄文: 堅穴住居7、土坑3、陥し穴38 平安: 堅穴住居44、掘立柱建物1、土坑32 時期不明: 掘立柱建物1、焼土遺構2、柱穴状土坑32 (出土遺物) 縄文: 土器小1袋、石器中24箱、石製品1、平安: 土師器大12箱、土製品小1箱、鉄製品80、鉄滓小2箱、羽口小1箱、琥珀20、貝殻中4箱ほか
合計9遺跡			72,041			

表2 令和4年度整理業務一覧

No.	遺跡名	所在地	整理期間	関連事業名	備考
1	中林下遺跡	奥州市	4/1～8/31	経営体育成基盤整備事業	令和2年度、令和3年度調査
2	小泉遺跡ほか	陸前高田市	11/1～3/15	被災ミュージアム再興事業	令和3年度から

表3 令和3年度発掘調査報告書発刊一覧

集数	遺跡名	所在地	委託者	担当者名	総頁数	印刷業者	調査年度
736	北条館跡・北日詰城内Ⅰ遺跡・南日詰大銀Ⅱ遺跡	紫波町	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	村田 淳	918	山口北洲印刷(株)	平成30年度、令和元年度、令和2年度
737	間野村遺跡・境遺跡	紫波町	盛岡広域振興局土木部	福島 正和	172	(有)セーコー印刷	令和2年度、令和3年度
738	明神下遺跡	奥州市	県南広域振興局農政部	須原 拓	994	(株)富士屋印刷所	令和2年度、令和3年度
739	平清水Ⅰ遺跡・平清水Ⅱ遺跡	野田村	県北広域振興局農政部	阿部 勝則	120	(株)五六堂印刷	令和2年度、令和3年度
740	大谷地Ⅲ遺跡	花巻市	花巻市建設部	八木 勝枝	198	(有)小松茂印刷所	令和3年度
741	「令和4年度発掘調査報告書」 本報告: 西根遺跡 調査概要: 中林下遺跡、サンニヤⅢ遺跡、天ヶ沢遺跡、滝大神Ⅰ遺跡、境遺跡・山下遺跡、中平遺跡、太田林遺跡、岡田遺跡				40	大更印刷(株)	令和4年度



岡田遺跡 遠景



太田林遺跡 重なり合う住居群



国指定史跡「烏海柵」と西根遺跡



中平遺跡 遠景



中林下遺跡 掘立柱建物跡



境遺跡・山下遺跡 平安時代の竪穴住居



岡田遺跡 陥し穴と竪穴住居



サンニヤⅢ遺跡 陥し穴の配列



滝大神Ⅰ遺跡 近世の掘立柱建物



天ヶ沢遺跡 弥生土器を含む沢跡

3 普及業務

(1) 受託業務

岩手県教育委員会より委託を受け、次の事業を行っている。

① 埋蔵文化財展

令和4年度の第43回埋蔵文化財展は、令和5年1月27日(金)から29日(日)の3日間、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催した。開催にあたっては、来場者に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用と検温をお願いするなどの対策をとった。

本事業は、県内の遺跡発掘調査の成果を県民に公開し、埋蔵文化財への理解と保護思想の普及を図るために継続している展示会である。近年は、東日本大震災の復興関連発掘調査の成果公開と、その年に埋蔵文化財センターが調査を実施した遺跡の速報として展示を行っている。

今回はこれまで継続して行っていた復興関連調査の展示の総括として、沿岸部全域を対象とし、各地域の特徴的な様相に迫った展示を行った。合わせて22遺跡の遺構写真パネルと出土遺物、速報展としては令和4年度に埋蔵文化財センターが調査を実施した4遺跡の出土遺物を展示した。3日間の入場者は303名であった。



埋蔵文化財展

② 埋蔵文化財発掘調査技術講習会

毎年、県内の県及び市町村の埋蔵文化財担当職員と当埋蔵文化財センター職員を対象として、発掘調査に必要とされる技術・知識の講習を行っている。

今年度は令和4年12月9日(金)に盛岡市の岩手県立博物館を会場に「岩手県内の発掘調査事例から見た十和田系テフラ」をテーマに実施した。午前は岩手県立博物館丸山浩治主任専門学芸員による「十和田aテフラを中心に」と題した講義、午後は当センター星雅之主幹兼課長補佐が「中坵テフラを中心に」と題した講義を行った。その後実物サンプルを実際に手に取りながら実見し、火山灰の堆積状況の解釈、県内各地の様相、取り扱い等を学んだ。参加者は42名であった。



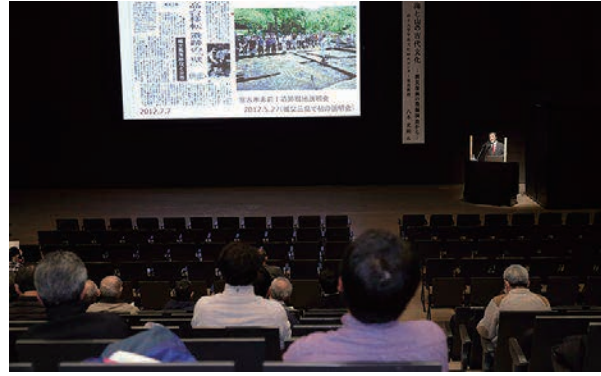
技術講習会

③ 埋蔵文化財公開講座

令和5年1月29日(日)午前、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催した。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受講者にマスク着用、検温をお願いするなどの対策をとった。受講者は67名であった。

今年度は、前日の1月28日(土)岩手県教育委員会が主催した「復興調査シンポジウム」が行われたこと、復興調査がほぼ終了していることから、一連の調査の総括として、これまでに知りえた成果についての講演とした。講師は岩手大学平泉文化研究センター八木光則客員教授で、『三陸 海と山の古代文化 ―震災復興の発掘現場から―』と題してご講演いただいた。

「発掘が被害を受けた人々の心を慰めるものとなった。遺跡が残っている岩手県に誇りを感じた。」「発掘調査の分析から窺い得る歴史についてのお話は説得力があり、わかりやすかった。」などの感想が寄せられた。



公開講座

④ 岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発刊

6月と2月の年2回、岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」を発刊している。令和4年度は146号と147号を発行した。



146号(令和4年6月30日発行)

146号の内容

- 令和3年度に市町村等が行った県内発掘調査
- 令和4年度に(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行う調査
- 東日本大震災関連復興調査から見た三陸の歴史Part 2 (沿岸北部)
- イベントのお知らせ
- 人事動向



147号(令和5年2月28日発行)

147号の内容

- 令和4年度の(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター発掘調査の成果
- 注目された遺跡
- 東日本大震災関連復興調査から見た三陸の歴史Part 3 (沿岸北部)
- 令和4年度イベントの報告

⑤ 資料保管・管理

発掘調査で出土した遺物(埋蔵文化財)を整理・管理している。資料は岩手県教育委員会の通知を受け、貸出業務及び市町村への譲与対応を行っている。また、資料の実見対応や画像貸出等も行っている。

表4 市町村譲与

No.	市町村	集数	遺跡名	コンテナ数	譲与日
1	洋野町	第727集	鹿糠浜 I	609	令和4年4月21日
			計	609	

表5 資料の実見

No.	受入日	資料名	申請者	内容	備考
1	4月7日	莉内遺跡丸木弓	大分県中津市歴史博物館	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
2	4月11日	塩ヶ森 I 遺跡土偶ほか	個人	写真撮影	
3	4月22日	大橋遺跡ほか縄文土器	八戸市是川縄文館職員	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
4	6月1日～3日	宿戸遺跡ほか磨製石器	中部大学教員	学術研究	
5	7月11日	湯沢遺跡ほか土器	盛岡市都南総合支所職員	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
6	7月14日	稲荷遺跡出土土器	花巻市博物館職員	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
7	9月15日	川目遺跡土製品ほか	八戸市是川縄文館職員	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
8	11月11日	雨滝遺跡ほか縄文土器	那覇市壺屋焼物博物館職員	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
9	11月8日～9日	千苺遺跡ほか赤彩土器	山形大学学生	論文作成	
10	12月12日～16日	大橋遺跡ほか縄文土器	東京大学大学院学生	論文作成	写真撮影含む
11	2月20日	峠山牧場 I 遺跡ほか旧石器	岩手県立博物館職員	学術研究	
12	2月22日	伏津館跡出土資料	京都市文化財保護課職員	学術研究	写真撮影含む
13	3月1日	上代川遺跡ほか弥生土器	秋田県埋蔵文化財センター職員	学術研究	
14	3月14日	上米内遺跡ほかヒスイ	オランダ ライデン大学教員	学術研究	写真撮影含む

表6 資料の貸出

No.	資料名	貸出期間	貸出先	目的
1	夏本遺跡ほか40点	5月10日～9月30日	県立博物館	企画展
2	高瀬 I 遺跡62点	5月25日～9月22日	平泉世界遺産ガイダンスセンター	企画展
3	大橋遺跡ほか59点	5月31日～6月30日	盛岡市立見前南小学校	社会科授業
4	大橋遺跡、金附遺跡13点	6月22日～9月30日	八戸市是川縄文館	特別展
5	相ノ沢遺跡ほか13点	6月29日～7月1日	県立盛岡となん支援学校	社会科授業
6	下嵐江 I ほか37点	7月7日～12月11日	奥州市教育委員会	巡回展
7	莉内遺跡大型土偶・漆弓レプリカ	7月9日～8月21日	大分県中津市歴史博物館	企画展
8	間木戸 II 遺跡ほか78点	7月28日～9月30日	山田町立鯨と海の科学館	特別展
9	湯沢遺跡ほか22点	8月9日～9月5日	盛岡市立見前中学校	社会科授業
10	稲荷遺跡ほか17点	9月2日～11月30日	花巻市博物館	テーマ展
11	河崎の柵擬定地ほか47点	9月14日～12月16日	奥州市埋蔵文化財調査センター	特別展
12	縄文原体一式	9月21日～10月17日	県立博物館	秋の学び教室
13	川目 A 遺跡ほか13点	9月27日～12月16日	八戸市是川縄文館	特別展
14	峠山 I A 遺跡ほか10点	12月15日～3月31日	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム	企画展
15	莉内遺跡ほか13点	12月16日～3月17日	岩手県立博物館	テーマ展
16	小白浜遺跡10点	2月1日～2月17日	釜石市文化スポーツ部	文化財公開

表7 写真の貸出

No.	月	申請者	目的	遺跡名	資料内容	点数
1	4	八幡平市博物館	出張ミニ展示で展示	崩石遺跡ほか3遺跡	遺構写真	7
2	4	新潟市文化財センター	企画展展示パネルで使用	上米内遺跡・莉内遺跡	遺物写真	2
3	4	(株)KADOKAWA	『地域の古代日本 陸奥と渡島』に掲載	中半入遺跡	遺物写真	1
4	4	(株)吉川弘文館	『奥州藤原氏の交易都市・比爪』	下川原 I 遺跡ほか2遺跡	遺構写真	2
5	4	岩手県立図書館	企画展「今こそ、縄文。」のチラシに掲載	手代森遺跡	報告書の写真	1
6	5	大分県中津市歴史博物館	企画展「粉洞穴と縄文の人生」図録掲載	莉内遺跡	遺物写真	1
7	6	洋野町教育委員会	『三陸沿岸の発掘調査～東日本大震災復興関連調査10周年の記録～』	鹿糠浜 I 遺跡・宿戸遺跡	遺構写真	2

表7 写真の貸出

No.	月	申請者	目的	遺跡名	資料内容	点数
8	6	青森県三内丸山遺跡センター	特別展「北海道・北東北のJOMON」図録掲載	滝ノ沢遺跡	遺物写真	1
9	6	奥州市教育委員会	発掘された奥州市展で展示、図録掲載	町屋敷遺跡ほか2遺跡	遺構写真	6
10	7	八幡平市博物館	企画展の展示及び印刷物に使用	扇畑Ⅰ遺跡ほか7遺跡	遺構写真	20
11	7	山田町立鯨と海の科学館	企画展「美しきやまの縄文」で展示	石峠Ⅰ遺跡・沢田Ⅲ遺跡	遺構写真	2
12	7	北上市市史編纂室	『新編北上市史』資料編古代中世に掲載	二子城跡ほか3遺跡	遺構図面・遺構写真	8
13	7	(株)アマゾンラテルナ	NHK「武田真治の縄文アドベンチャー」で使用	長倉Ⅰ遺跡・林崎Ⅰ遺跡	遺物写真	2
14	8	(株)吉川弘文館	『安倍・清原氏の巨大城柵』に掲載	河崎の柵擬定ほか7遺跡	遺構図面・遺構写真	8
15	8	盛岡市教育委員会	手代森遺跡説明版解説資料に掲載	手代森遺跡	遺物出土状況写真	4
16	9	奥州市埋蔵文化財調査センター	特別展「鎮守府胆沢城と境界」で使用	房の沢Ⅳ遺跡ほか7遺跡	遺物写真	25
17	9	八幡平市博物館	企画展で展示	谷地田Ⅰ遺跡ほか5遺跡	遺構写真・遺物写真	9
18	9	岩手考古学会	『三陸沿岸の発掘調査～東日本大震災復興関連調査10周年の記録～』	野場Ⅰ遺跡ほか19遺跡	遺構写真・遺物写真	45
19	9	奥州市埋蔵文化財調査センター	特別展「鎮守府胆沢城と境界」で使用	長根Ⅰ遺跡	遺物写真	2
20	9	花巻市博物館	期間展示「花巻のやきもの」パネル展示	万丁目遺跡ほか3遺跡	遺構写真・遺物分析写真	11
21	10	岩手県立博物館	「新収蔵資料指定展」の広報に使用	長倉Ⅰ遺跡	写真	1
22	10	(株)新泉社	「氷河期の石器工房 ピリカ遺跡」に掲載	峠山牧場ⅠA遺跡	遺物写真	1
23	11	(株)ジャパン通信情報センター	「文化財発掘出土情報」に掲載	中林下遺跡	現地公開資料	1
24	12	岩手県立博物館	「新収蔵資料指定展」で展示	長倉Ⅰ遺跡・萩内遺跡	遺構写真	5
25	1	釜石市文化スポーツ部	文化財公開事業「かまいしの復興発掘調査展」での展示	小白浜遺跡	遺構写真	5
26	1	テレコムスタッフ(株)	NHK「英雄たちの選択 #276」で紹介	長倉Ⅰ遺跡	遺物写真	1
27	2	北上市市史編纂室	「新編北上市史」資料編考古に掲載	千苅遺跡ほか8遺跡	遺構写真・遺物写真	38
28	2	(株)文学通信	『「土偶を読む」を読む』に掲載	長倉Ⅰ遺跡・手代森遺跡	遺物写真	2
29	2	久慈市教育委員会	文化財展「久慈城と武士の時代」展示パネル	宇部跡	遺構写真	2
30	3	(株)ジャパン通信情報センター	「文化財発掘出土情報」に掲載	中平遺跡	遺構写真・現地公開資料	2
31	3	福島県立博物館	企画展「東北中・南部の古墳文化」に使用	中半入遺跡	遺物写真	5
32	3	(株)ジャパン通信情報センター	「文化財発掘出土情報」に掲載	岡田遺跡	遺構写真・現地公開資料	2
33	3	洋野町芸術文化協会	広報紙「芸文 ひろの」表紙に掲載	北ノ沢Ⅰ遺跡	遺物写真	1
				すべてデジタル	計	225

(2) 自主事業

① 復興発掘調査展 in 洋野町

東日本大震災からの復興事業に伴う発掘調査の成果を地元で公開する目的で、令和4年11月12日(土)から20日(日)の8日間(16日休館)、洋野町民文化会館コミュニティホールを会場として「復興発掘調査展 in 洋野町」を開催した。平成26年度以降、当センターが洋野町内で実施した発掘調査21遺跡の出土品と写真パネルを展示した。来場者数は8日間で延べ746名である。



復興発掘調査展 in 洋野町①



復興発掘調査展 in 洋野町②

② 遺跡報告会

遺跡報告会は県からの受託業務の埋蔵文化財公開講座と同日の令和5年1月29日(日)午後、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催し、92名の参加があった。今年度は当センターが調査した古代と縄文の4遺跡について紹介した。



遺跡報告会

表8 遺跡報告会報告遺跡

No.	報告遺跡	所在地	時代と内容	報告者
1	太田林遺跡	釜石市	縄文時代早期中葉から前期末の集落跡。玦状耳飾りの製作遺跡。北海道産アオトラ石製の石斧、堅果類も出土。	主任文化財専門員 八木 勝枝
2	岡田遺跡	北上市	中位段丘上を50,000㎡にわたり調査。300基を超える縄文時代の陥し穴や後期旧石器の遺物集中、平安時代の集落を検出。	主任文化財専門員 北村 忠昭
3	中平遺跡	野田村	縄文時代早期～前期の集落、中期～後期の狩場を検出。平安時代の集落跡もあり、堅穴住居のほか、鉄生産に関連する工房を検出。石帯が出土した。	主任文化財専門員 村木 敬
4	中林下遺跡	奥州市	地方官衙と思われる平安時代の掘立柱建物群のほかに、12世紀の掘立柱建物跡や同時期のかわらけ、国産陶器、中国産磁器が出土。	主任文化財専門員 杉沢 昭太郎

③ 資格取得

●第二種衛生管理者 2名(主任文化財専門員 溜 浩二郎・主任文化財専門員 村上 拓)

④ 研修

●職員専門研修

令和5年2月10日(金)

「平安時代の施釉陶器の分類と年代」 文化財専門員 村田 淳

「3Dスキャナーの使用方法」 主任文化財専門員 北田 勲

●外部研修への派遣

◆文化庁

令和4年9月26日(月)～29日(木) 「文化財マネジメント職員養成研修」

受講 主任文化財専門員 村上 拓

◆全国埋蔵文化財法人連絡協議会

令和4年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会

令和4年11月1日(火)研修開催法人 (一財)長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センター

受講 主幹兼課長補佐 星 雅之

◆岩手県、一般社団法人岩手県文化財愛護協会

令和4年6月24日(金)「岩手県文化財保護行政基礎研修会」及び「文化財に係るコンプライアンス研修会」

講師(独立)国立文化財機構東京文化財研究所 副所長 早川 泰弘

受講 調査課長 濱田 宏ほか17名

◆独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所

該当なし(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛)

◆産業技術短期大学校

該当なし(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を自粛)

⑤ 発刊

●紀要 第42号

当センターの研究紀要として、昭和55年以来発刊している。今年度は論文2編、研究ノート2編を掲載した。

●年報 令和3年度版

令和3年度に当センターが実施した発掘調査・整理・報告書刊行・遺物の活用・普及啓発・研究普及等の業務成果記録を掲載し、平成30年度以降は印刷物とせず、webで公開している。

表9 紀要第42号の内容

(論文)

執筆者	タイトル
金子 昭彦	東北地方・縄文晩期の土偶(8)
福島 正和	宮古市田鎖車堂前遺跡における居館の構造と機能

(研究ノート)

村木 敬	岩手県における磨製石斧の製作工程について
村田 淳	紫波町比爪館遺跡出土の鉄製馬具

⑥ 図書管理

●図書台帳の作成

令和4年度新着図書1,382冊のデータベース化と図書台帳作成を行った。センター設立から令和5年3月末日までの図書受け入れ冊数は71,519冊である。

●図書の整理保管

新着図書の記号ラベル貼付けと図書カード作成後に整理・収納し、図書室ほかに配架した。

●図書の貸出

令和4年度は584件の貸出があった。

表 10 図書受け入れ冊数

年 度	財団寄贈	県立寄贈	購 入	合 計
平成 14 年度まで	24,172	5,049	4,010	33,231
平成 15 年度	1,936	331	247	2,514
平成 16 年度	1,692	190	51	1,933
平成 17 年度	2,110	212	71	2,393
平成 18 年度	1,805	168	155	2,128
平成 19 年度	1,834	187	69	2,090
平成 20 年度	2,218	100	39	2,357
平成 21 年度	1,813	104	56	1,973
平成 22 年度	1,833	53	24	1,910
平成 23 年度	1,483	62	79	1,624
平成 24 年度	1,954	166	50	2,170
平成 25 年度	1,734	111	43	1,888
平成 26 年度	1,789	75	148	2,012
平成 27 年度	1,567	46	30	1,643
平成 28 年度	1,527	45	24	1,596
平成 29 年度	1,722	30	35	1,787
平成 30 年度	1,642	16	97	1,755
令和元年度	1,468	13	57	1,538
令和 2 年度	1,593	42	39	1,674
令和 3 年度	1,860	23	38	1,921
令和 4 年度	1,305	20	57	1,382
合 計	59,057	7,043	5,419	71,519

⑦ カラーライドのデジタル化

過去に発掘調査で撮影したカラーライドについては、退色などの品質低下を免れないことから、順次デジタル化を行い保存を図っている。令和 4 年度は 20 集分のデジタル化を行った。

⑧ 所内展示

本館玄関ホールにおいて、当センター保管の各時代の遺物資料を展示している。

⑨ ホームページ運営

主な項目と内容

- ・「発掘調査」発掘調査の方法や現在発掘中の遺跡・室内整理の状況を進捗に合わせて逐次紹介。
- ・「現地説明会・現地公開のご案内」現地説明会のお知らせと開催した説明会のレポートを掲載。
- ・「出土品ギャラリー」これまでに調査した遺跡から出土した遺物の代表的なものを紹介。
- ・「いわての歴史年表」主な遺跡を掲載した年表を掲載。
- ・「イベントレポート」公開講座や遺跡報告会など行事の様子を紹介。令和 3 年度から動画も公開している。
- ・「ムービー」センター創設以来の業務の紹介映像。
- ・東日本大震災関連の発掘調査に関してはコーナーを設けて検索しやすいように配置している。
- ・令和 4 年 4 月から 5 年 3 月までのアクセス数は 26,896 件で、月平均 2,241 件である。

⑩ 遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開

令和 4 年度は、遺跡見学、体験学習、教職員研修はなかった。現地説明会と現地公開は、新型コロナウイルス感染状況の許す限り、手指消毒、マスク着用、来場者カードの記入、密を避けるなどの感染防止対策を講じて 4 回実施した。



岡田遺跡・現地説明会



中平遺跡・現地公開

表 11 現地説明会・現地公開

No.	遺跡名	所在地	期 日	種 別	参加人数	遺跡内容
1	中林下遺跡	奥州市	令和4年7月21日(木)	現地公開	24	平安・12世紀
2	岡田遺跡	北上市	令和4年10月22日(土)	現地説明会	143	縄文・平安 集落
3	中平遺跡	野田村	令和4年11月3日(木・祝)	現地公開	83	縄文・平安 集落
4	太田林遺跡	釜石市	令和4年11月23日(水・祝)	現地公開	87	縄文集落
計4回					337	

4 外部協力

外部組織等からの依頼を受け、講演の講師、研究会等の報告、委員会等の会議への出席や指導委員、出版物への執筆依頼を受けるなど外部協力を行っている。

(1) 講演・研究発表・会議・指導

表 12 講演・研究発表・報告・会議・指導等

No.	主催者	派遣場所	月日	内 容	職	氏 名
1	県立平泉世界遺産ガイドダンスセンター	平泉文化遺産ガイドダンスセンター	7月2日	平泉学講座「三陸の12世紀 一田鎮車堂前遺跡などから見た平泉と三陸」講演	主任文化財専門員	福島 正和
2	釜石市教育委員会	釜石市役所	7月14日	第1回釜石市橋野高炉跡史跡西部整備委員会出席	主任主査	金子 佐知子
3	宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会	宮古市民文化会館	7月15日	第3回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会出席	調査課長	濱田 宏
4	福島市市民・文化スポーツ部	zoomによる打ち合わせ	8月5日	「土偶フォーラム」しゃがむ土偶を考える”打ち合わせ	主任文化財専門員	八木 勝枝
5	岩手県教育委員会生涯学習文化財課	いわて県民情報交流センター	9月5日	第1回高地性集落悉皆調査指導委員会出席	文化財専門員	村田 淳
6	びげプロダクション(株)	フォーラム八戸	10月22日	ドキュメンタリー映画「掘る女 縄文人の落とし物」舞台あいさつ	主任文化財専門員	八木 勝枝
7	宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会	宮古市崎山公民館	10月28日	第4回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会出席	調査課長	濱田 宏
8	福島市市民・文化スポーツ部	福島市こむこむ館わいわいホール	11月20日	「土偶フォーラム”しゃがむ土偶を考える”出席	主任文化財専門員	八木 勝枝
9	国立文化財機構奈良文化財研究所	奈良文化財研究所	12月16日～17日	第26回古代官衙・集落研究会「古代集落を考える3」報告及び討論	主任文化財専門員	西澤 正晴

No.	主催者	派遣場所	月日	内 容	職	氏 名
10	花巻市教育委員会	花巻市石鳥谷生涯学習会館	2月4日	花巻市埋蔵文化財講演会「花巻市・大谷地Ⅲ遺跡の発掘調査」講演、助言	主任文化財専門員	八木 勝枝
11	岩手大学平泉文化研究センター	岩手大学教育学部	2月4日～5日	平泉学研究会・平泉学フォーラム「柳之御所遺跡の考古学研究」報告・資料執筆	主任文化財専門員	西澤 正晴
12	宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会	宮古市崎山公民館	2月10日	第5回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会出席	調査課長	濱田 宏
13	宮古市教育委員会	宮古市崎山公民館	2月11日	第4回文化財保存活用地域計画策定事業公開講座「知られざる古代宮古を考える～田鎖車堂前遺跡を中心に～」講演	主任文化財専門員	福島 正和
14	野田村生涯学習推進本部	野田村生涯学習センター	2月11日	野田村生涯学習大会「中平遺跡発掘調査報告について」講演	主任文化財専門員	村木 敬
15	釜石市教育委員会	釜石市役所	2月21日	第2回釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会出席	主任主査	金子佐知子
16	平泉町教育委員会	平泉文化遺産センター	3月4日	平泉町内発掘調査報告会 調査報告	主任文化財専門員	西澤 正晴
17	北上市教育委員会	日本現代詩歌文学館	3月4日	北上市発掘調査報告会・講演会「清水遺跡の調査成果と八天遺跡」講演	主任文化財専門員	村上 拓
18	岩手県教育委員会生涯学習文化財課	県庁	3月14日	第2回高地性集落跡悉皆調査指導委員会出席	文化財専門員	村田 淳
19	(一財)奥州市文化振興財団	奥州市文化会館	3月18日	奥州市遺跡発掘調査報告会「中林下遺跡」報告・資料執筆	主任文化財専門員	杉沢 昭太郎

(2) 執筆等

表 13 執筆等

No.	依頼元	出版物	発行日	内 容	職	氏 名
1	(一財)岩手県文化財愛護協会	いわて文化財287号	6月30日	東日本大震災復興関連調査から見えてきた三陸の歴史 一沿岸北部①-	主幹兼課長補佐	星 雅之
2	奥州市教育委員会	「発掘された奥州市展2022」展示パネル	7月16日～	明神下遺跡 遺跡紹介パネル	主任文化財専門員	須原 拓
3	奥州市教育委員会	「発掘された奥州市展2023」展示パネル	7月16日～	中林下遺跡 遺跡紹介パネル	主任文化財専門員	北田 勲
4	福島市 市民文化スポーツ部		10月9日	「土偶の日ドキドキシンポジウム」に係る動画メッセージ作成	主任文化財専門員	八木 勝枝
5	(一財)岩手県文化財愛護協会	いわて文化財288号	10月31日	東日本大震災復興関連調査から見えてきた三陸の歴史 一沿岸北部②-	主幹兼課長補佐	阿部 勝則

公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿(令和4年度)

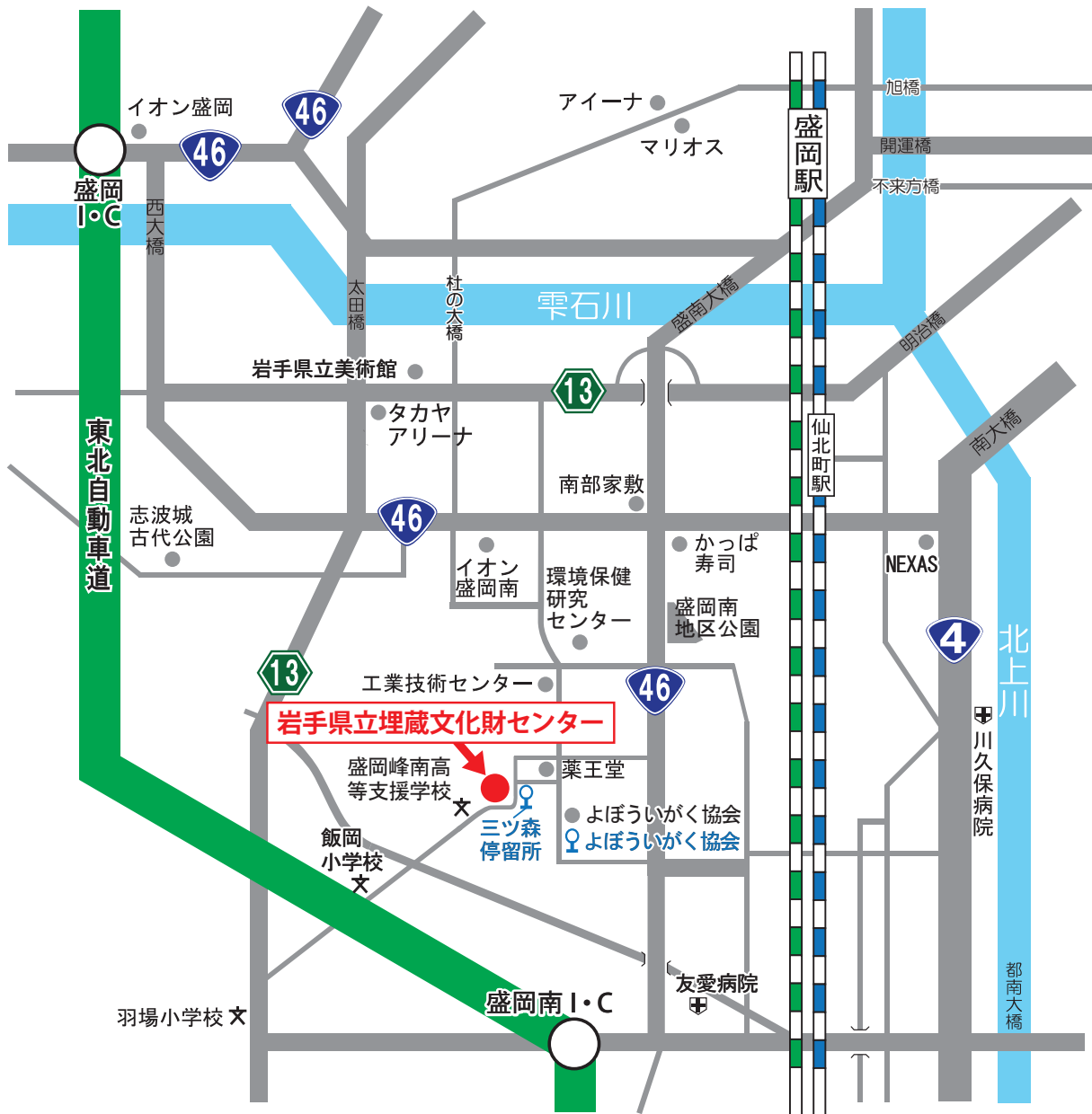
理事兼所長 齊藤 邦雄

[総務課]

総務課長	山崎 隆	総務事務員	大志田 苗穂子
主任主査	丸山 直美	〃	武田 秀徳
主査	村上 絵美	〃	福井 真生野
主事	松尾 健生		小野 友理(7月採用)

[調査課]

調査課長	濱田 宏	文化財専門員	川又 晋
主幹兼課長補佐	星 雅之	〃	村田 淳
〃	阿部 勝則	文化財調査員	野中 裕貴
主任文化財専門員	杉沢 昭太郎	調査補助員	富川 悟
〃	溜 浩二郎	〃	袖林 清
〃	村上 拓	〃	進藤 丈嗣
〃	西澤 正晴	室内整理作業主任	阿部 奈緒美
〃	村木 敬	〃	阿部 敏子
〃	福島 正和	〃	安本 桂子(9月退職)
〃	北村 忠昭	〃	村松 紀子(10月採用)
〃	八木 勝枝		
〃	須原 拓		
〃	北田 勲		
主任主査	小山内 透		
〃	金子 佐知子		



アクセス

- 東北新幹線盛岡駅、JR東北本線仙北町駅下車
- 盛岡駅発岩手県交通バス 飯岡線湯沢団地経由矢巾営業所行き 三ツ森停留所下車
ゆいとぴあ東線よぼういがく協会行き よぼういがく協会下車徒歩5分
- 仙北町駅西口より徒歩約30分
- 東北自動車道盛岡南インターチェンジより車で10分

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
 〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
 TEL (019) 638-9001
 FAX (019) 638-8563
 E-mailアドレス i-maibun@echna.ne.jp
 ホームページ http://www.iwate-maibun.jp

年 報

令和4年度版

発 行 令和5年7月1日

発 行 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
TEL (019) 638-9001
FAX (019) 638-8563
